

っさいだろ♥

も一日中外で
をしていたからな♥

ふたなり

女体育教師との性活

ふう…
立ってするのも
疲れてきたな

おい、いつまで休んでる
早く来い

先生のチンポが入ってきたことが
わかった途端、僕のおちんちんから
我慢汁があふれてきた

おいおい、そんなに
微しかったのか♥
だったらこっちも
気合入れないとな♥

おい、お前ら！
きちんと走れ！

それとも私からの
お仕置きが欲しいのか!?



あの女性は姫路先生。
この学校の体育教師をしている。
しかもふたなりだ。

姫路先生は言うことの聞かない生徒を
ふたなりチンポで躡けているそうだ。





彼女のお仕置きを受けた
生徒の何人かはその後学校を
やめてしまいうらしい

僕たち生徒は、
先生に目を付けられないように
必死に授業に取り組んでいた



おい、お前！
また一人だけ遅れているぞ！

もっと速く走れないのか？

す、すみません……

ん？
待てよ

確かお前は
この前の授業と
その前の授業で
私に注意されて
いたな





いえ…
覚えていません…

ふん、誤魔化せると思うなよ

放課後、私のところに来い
じっくり指導してやる



最悪だ…

気を付けていたのに、
ついに呼び出しを
食らってしまった…

放課後、
姫路先生と一緒に体育倉庫に来た





よし、
それじゃあ服を脱いで
そこに横たわれ

あの、
一体何をするんですか？

お仕置きに決まってるだろ
ほら、早くしろ♥

僕は言われたまま服を脱ぎ、横になる

すると、先生もジャージと
パンツを脱ぎだした



僕が何かを言い出すよりも先に、
先生は僕の顔に跨った



熱く、やわらかい金玉袋が
顔全体を覆った

そらっ！
まずは私の金玉の
臭いをしっかり嗅げ！





息を吸うと、
激臭が鼻を貫いた
あまりの臭さに、
咳き込みそうになる

あはは
どうだくっさいだろ♡

今日も一日中外で
授業をしていたからな♡



あゝそろそろ
濃厚でこってりな
精液が上ってきそうだ♡

聞こえるか？
精液が作られている音が♡



さて、それじゃあ出来立て
ザーメンをごちそうしてやる

ようやく息ができるように
なったかと思いきや、
すぐさま口の中に
チンポをぶち込まれる

苦味や酸味、イカ臭さが
口いっぱいに広がった

先生は腰を上下に振り始めた

ほら、チンポに媚びろ♡

先生のチンポが喉奥に
当たるたび、
えずきそうになる

い
ア
♡

い
ア
♡

♡





出すぞ!
ふんっ♡♡♡

あゝ出る出る出る♡

いゝ
42
♡

いゝ
42
♡

いゝ
42
♡

いゝ
42
♡





先生は腰を
思いつきり落とし、
喉奥に射精をした

ドロツドロの精液が
胃袋に注がれていく…

しかし、先生の射精が
あまりにも長いため、
僕はそのまま
酸欠で気を失った…

目を覚ますと姫路先生に
両足を掴まれ
逆さにされていた





あ、あれ？
先生……？

気が付いたか
全く、あれしきのことで
気を失うとは

まだ、出し足りないんだ
もう少し付き合え

先生のチンポは
まだギンギンに
硬くなっていた

こ、今度は何を…？

もちろん、
お前のケツ穴を使うんだ
たっぷり注いでやるぞ



ま、待って！
まだお腹に精液が！

休んでる暇
なんてないぞ！



僕のお尻にチンポが入れられる
ゴリユゴリユと僕のケツ穴を広げ、
奥へと進んでいく

ははは♥
なかなかいい締め
具合じゃないか♥

センスあるぞお前♥

ぐお♥

だめえ♥
やめてえ♥

よおし♥
そろそろイキそうだ♥

ほら、媚びろ♥
心を込めて!

僕に拒否権などなかった

パ
ン
♥

い
ん
♥

パ
ン
♥



先生：
出してください…

出すぞお！





先生の精液が流れ込んでくる
胃袋に入っていた先ほどの
精液が逆流して吐き戻される

顔中が精液と胃液
まみれになってしまった
しかし、先生は腰振りをやめず、
何度も精液を注ぐ

一時間後

ようやく姫路先生による
お仕置きが終わった…



あの日以来、先生は僕のことを
気に入ったらしく、
何度も呼び出しを食らった

せ、先生、
それは…？





これか？
これはとろろだよ
そろそろ別の刺激が
欲しくなってきたな

こいつをローションの
代わりに使うのさ

そんなことして
大丈夫なんですか？

痒くなる程度だ。
問題はない



先生はとろろを
自分のチンポに塗りたくる
すると…





とろろによる痒みが
先生のふたなりチンポを襲う

耐えられなくなった先生は、
僕のケツ穴に
チンポをぶち込んだ



チンポがケツ穴を
広げる快感と、
とろろによる痒みが
同時にやってくる

んあ♡

せんせえい♡

おお♡





痒みを抑えようと、
先生は直腸のヒダに
チンポを擦りつける

僕も肛門の痒みを
和らげるために
お尻を突き出す

んおおおお♡
来た来た来たあ♡

ザーメン上ってきたあ♡
出すぞオラッ♡♡



腰使いがさらに早くなり、
僕の前立腺にチンポが
大きく叩きつけられた

ぶっ濃い精液が
お腹の中に放たれる



おお♡
止まんねえ♡

その後も先生の射精が何度か続き、
精液と汗でようやく
とろろの痒みが流された



ふう…
立ってするのも
疲れてきたな

おい、いつまで休んでる
早く来い



僕は先生の下に潜り込み、
お尻を突き出した



この態勢は楽だな
よし、やるぞ

先生は慣れた手付きで
チンポを挿入した





僕のお尻はすっかり
ガバガバになり、
姫路先生専用の
おチンポケースになっていた



ふふふ♡
随分と従順になったな♡

他の奴らだったら
泣き喚いたのに…



どうやら僕はメスとしての
才能があるようだ

チンポの硬さ、チンポの形、
カリの高さ、それら全てが
肉ひだ一つ一つから伝わってくる



オラツ動くぞお！

先生のチンポが肉壁を擦り、
前立腺を押しつぶす

その衝撃でケツ穴が
キューツと締まる

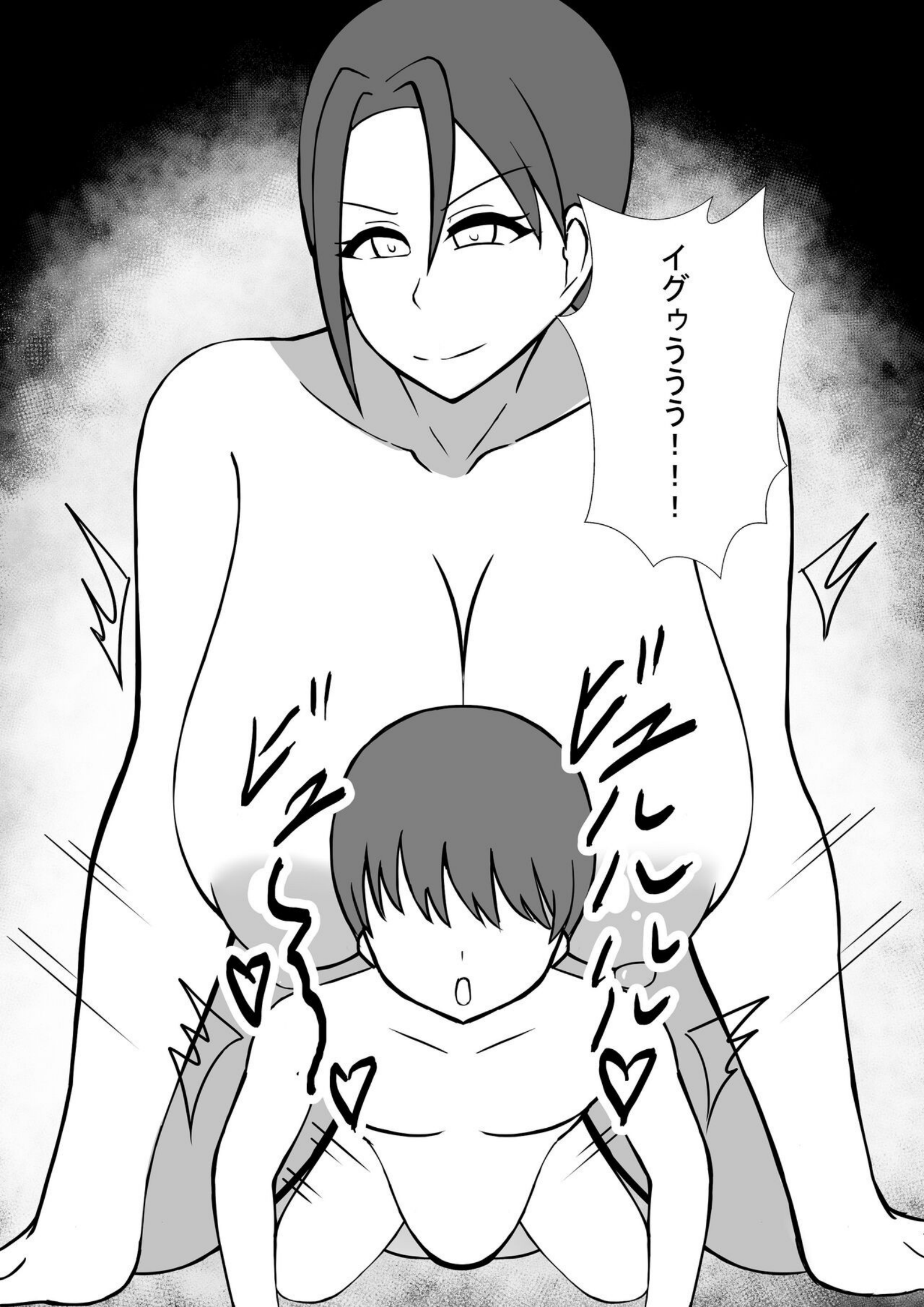


いいぞお
いい絡みつきた♡

ザー汁上ってきたぞお♡

いい♡
いい♡

いい♡
いい♡



イグウウウウ...!!



はあはあ♥
今日も中々よかったぞ♥

あ、ありがとうございます…



水泳の授業にて



全く、お前という奴は…
水泳もできないのか？

僕はクラスメイトの前で
先生に叱られた

そんな僕を見て、
みんなは同情や哀れみの
目を向けてくる

プールの授業が終わった直後、
僕は先生に呼び出された





まさかお前、私のお仕置きが
欲しかったのか？

泳げないのは本当です。
でも、先生のチンポで
お仕置きはしてもらいたいです…

そうか
だったら放課後
私のところに来い



放課後



僕は先生の水着の
中に入れられた

蒸し暑く、汗臭いけれど、
モチモチとした柔らかい
感触に全身を包まれた



クラスの連中、
お前を可哀想だと
思っ見てたぞ

それなのにお前と来たら…

自分から
お仕置きしてください
と言いに来るとは…

とんだ変態だな♡



だが私はお前みたいな奴が
大好きだぞ♥

自分よりも小さく大人しい奴を
この自慢のチンポで
犯すのが最高に堪らん♥



先生の言う通りだ
僕は変態だ

男の自分よりも、
大きくたくましい肉体と
チンポを持つ先生に
犯されるのが快感になっている



今もこうして水着に拘束され、
大きなチンポを突き出されているのに、

お尻の穴がキュンキュンしている



先生のチンポが入ってきたことが
わかった途端、僕のおちんちんから
我慢汁があふれてきた

おいおい、そんなに
欲しかったのか♡
だったらこっちも
気合入れないとな♡

先生のピストンが始まった
肉壁を押しわけ、前立腺を押しつぶす

そして肉ひだを一つ一つ擦り
引き抜いていく





これを何度も何度も繰り返した

僕は何度も精液を垂れ流し、
先生もそろそろ射精を
しようとしていた

そろそろいくぞ♡
中にたっぷり注いでやるからな♡

お前のお前だけの種汁だ♡
しっかり受け取れ♡



先生の精液が放たれた
今までにないくらい
の勢いと量だった

先生の化け物じみた
射精は10分ほど続いた





今日はこれくらいで
いいだろう♡

これから夏休みだが、
夏休みも私がみっちり
指導してやる♡
覚悟しろ♡

僕と先生の性生活は
まだまだ続きそうだった



































